

早稲田大学 大学院法学研究科
2023年度 修士課程(社会人)入学試験問題
【小論文】

社会人研究課題

「社会保障、社会福祉・成年後見の法と行政」

以下の6つの設問のうち、1つを選んで解答しなさい。

1. 任意後見制度の利用がすすまない原因について検討し、どのような改善策が考えられるかを論じなさい。
2. 社会保障行政における行政不服審査法制の意義を論じなさい。
3. 「孤独・孤立対策」の推進のため、社会保障制度としてどのような対応が求められるかを論じなさい。
4. いわゆる「障害の社会モデル」について説明し、それが民法・成年後見法に対してどのような影響を及ぼし得るかを論じなさい。
5. 不利益処分にかかわる社会保障法判例を1つ挙げて（例えば生活保護法26条に関する事件）、行政裁量の視点からその是非を論じなさい。
6. 「高齢者中心型社会保障から全世代型社会保障へ」と表現される政策動向の背景と意義を明らかにしたうえで、そうした移行に向けての課題と考えられるものを、年金・医療・介護・子育て・その他の社会保障各分野につき論じなさい。

答案の書き方（横書 / 縦書）

六法全書の使用を（認める / 認めない）